

■第2回長浜市未来創造会議における意見の第3期総合戦略への反映

No.	意見	対応する施策の附番	反映箇所	
1	地域のデジタルシフトは重要な要素である。	1-1	事業概要	市内事業者が、将来の事業の成長を見据えつつ、市民の消費ニーズや生活様式の変化などの身近な変化にも対応できるよう、業務効率化・デジタル化や生産性向上に向けた新技術・先端設備の導入の支援、産業支援機能の強化を行い、事業者の経営基盤の強化と地域産業の活力向上を図ります。
2	「個人の事情やライフスタイルに応じた柔軟な働き方実現に向けた支援」という施策に加えて、「働きづらさを抱える方へのサポート」という文言を入れてほしい。	1-3	事業概要	個人の事情やライフスタイルにあった働き方の実現に向けて、短時間労働やリモート勤務、兼業といった就労希望者のニーズにあった仕事の掘り起こしや、職場の意識改革による就労環境の改善、働きづらさを抱える方へのサポートなどを促すことで、誰もが働きやすく活躍できる環境づくりに努めます。
3	小さなところからでも農業の省力化を進める必要があると感じる。	1-4	事業概要	スマート農業やDXなどを活用した農業経営の省力化を進める
4	学校でアウトリーチや地域との連携、文化芸術を活かし、産業化できるような仕組みがあればいいと感じる。	2-1	主な事業内容	(1) 地域資源を生かした体験型ツアー造成やアーティスト・イン・レジデンス等の市民活動に対する支援
5	地域資源について、まずは若者目線で地域資源を発見すべきだと感じる。	2-1	事業概要	本市に深く根付いている自然・歴史、文化・芸術などの地域資源やそれらを生かした市民活動について、多様な目線からその魅力を再認識し、紹介する場の創出や国内外への情報発信を進める
6	身近に様々なロールモデルがあると、そのモデルが仕事の選択肢になるので、出会いの場を作っていくことが重要なのではないかと考える。	2-1	事業概要	本市に深く根付いている自然・歴史、文化・芸術などの地域資源やそれらを生かした市民活動について、多様な目線からその魅力を再認識し、紹介する場の創出や国内外への情報発信を進める
7	手段として情報発信力の強化とあるが、無いものを情報発信することはできない。先ほど同様に作るのが先である。箱モノを作るというわけではないが、ツアーなどソフト的なものも含めて考えていく必要がある。	2-1	主な事業内容	(1) 地域資源を生かした体験型ツアー造成やアーティスト・イン・レジデンス等の市民活動に対する支援
8	人材確保に併せて、不動産屋に行く以外の方法で空き家活用などの住まいの選択肢を提供することで経済支援にもなり、定住支援に繋がるのではないかと。	2-2	主な事業内容	(1) 移住・定住に関する情報発信の強化 (2) 移住者ネットワークの構築による情報共有および交流の促進 (3) 空き家流通・活用の促進
9	健康リスクが高い方への支援は充実しているが、「健康な妊婦への支援」が不足している。	3-1	事業概要	総合相談窓口を担う「こども家庭センター」を設置するなど、妊娠・出産から子育てまで一貫した支援を行うとともに、医療体制の構築や経済的負担の軽減を図ります。そして、これらの取り組みをアプリ等を活用し情報発信を行うとともに、手続きの電子化を進めるなど、誰もが簡単にサービスを受けられる環境を整備し、必要な人に必要なサービスが行き届く取組を進めます。
10	健康リスクが高い方への支援は充実しているが、「健康な妊婦への支援」が不足している。	3-1	主な事業内容	(3) 切れ目ない医療体制の構築及び経済的負担の支援

■第2回長浜市未来創造会議における意見の第3期総合戦略への反映

No.	意見	対応する施策の附番	反映箇所	
11	仕事と家庭の両立には、家庭という枠組みがしっかり機能している必要があるが、セミナーの参加者は女性が多く男性が少ない。男性にもっと参加いただけるようなアプローチが必要と感じる。	3-1	事業概要	パートナーとともに、子育てしながら豊かな暮らしができる取組を進めるとともに、育児休業の取得促進など働き方改革を推進します。
12	施策[3-1]について、女性が働きやすい地域としてブランド化、多様な働き方とあるが、文章では「女性」が前提の書き方になってしまっているので、書き方を変えた方がいい。	3-1	事業概要	「誰もが働きやすい地域」としてブランド化を目指します。
13	教育データベースの作成が重要と考えている。データからこどもの課題を洗い出す必要がある。	3-2	事業概要	小中学校においては、ICT活用や生徒・教員・学校に関する情報収集及び分析を図り、実状に応じた学校教育を進めるなど、こどもの自立に向けた「生きる力」を育む取組を進めるとともに、
14	外国籍の方の相談窓口の周知などが足りないと感じる。	3-3	主な事業内容	(4) 外国人家庭への支援
15	企業や地域と関わって理解を深めるような幼少期、小中学生でのエピソードがあると大人になって帰ってくるきっかけになると思う。このような機会を創出できないか。	3-4	主な事業内容	(3) 多世代交流の場の充実
16	地域医療体制の維持の点で、周産期医療の「維持」でなく、ぜひ「強化」を目指してほしい。	3-4	主な事業内容	(10) 休日急患診療所や小児救急医療、周産期医療体制の維持・強化
17	居場所づくりに加えて、「仕事」の要素があると、より社会とのつながりができるのではないか。	4-1	主な事業内容	(2) 居場所と(仕事等の)役割のあるコミュニティづくり
18	情報が集まるプラットフォームを市で整備してはどうか。	4-2	事業概要	幅広い主体の参画や情報共有・活用、多様な主体の協働を推進する新たな仕組みと体制づくりを構築していきます。